

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2024 年度は、年度当初に今後 3 年間の収支改善計画を策定し、その収支改善目標値の達成に向け各附属病院の稼働状況をきめ細かく把握する会議体を新たに設置しました。法人全体の基本金組入前収支差額は▲3,135 百万円（うち収益事業会計〔多摩病院〕収支差額▲1,634 百万円）と前年度から 2,228 百万円収支改善したものの、引き続き経営状況は極めて厳しいものとなっています。

主な増減要因としましては、収入では前年度閉院した東横病院の不動産売却による売却差額 5,871 百万円、医療収入 76,854 百万円（前年比 1,465 百万円増）、コロナ関連支援金や経常費等補助金減少など補助金 3,472 百万円（前年比 915 百万円減）、支出では東横病院の機器備品やソフトウェアの除却、大学病院の新外来棟（旧病院別館改修）と病院本館等解体工事着手に伴う建物等の除却などで処分差額 2,511 百万円（前年比 2,401 百万円増）、新外来棟およびエントランス棟への移転・移設費や臨時清掃委託費、什器備品の購入のほか附属病院全体の医薬品等直接材料費の増加など医療経費 49,314 百万円（前年比 286 百万円増）、過年度コロナ関連支援金返還などで管理経費 2,689 百万円（前年比 631 百万円）、ベア評価手当・処遇改善手当のほか医師の働き方改革に伴う諸手当の支給など人件費 38,517 百万円（前年比 465 百万円増）となっています。

なお収支差額に減価償却額と処分差額を足し戻した償却前収支差額は、2024 年度は 4,219 百万円のプラスとなりました。

エネルギー価格の高騰は、政府による断続的な供給事業者への電気・ガス価格激変緩和対策補助金により 2024 年度もある程度抑制されましたが、原材料高と日米金利差に伴う円安の進行が諸物価を押し上げており、人口減少等社会構造の変化による労務費の増加もあいまって、法人の支出増に影響していますが、営生キャンパスリニューアル計画は新外来棟とエントランス棟が竣工・稼働を迎えるなど計画通りに進捗しています。

そうした状況において、附属病院等では患者数がコロナ禍前の 2019 年度と比較して入院が 93.3%、外来が 88.9%まで回復したことや、診療単価の上昇により医療収入が増加しています。

法人全体の財務状況を鑑み、前年度に引き続き設備投資や経常経費は抑制しましたが、医療機器の更新以外に、医療 DX を進めるうえでのサイバーセキュリティ対策としてオフラインバックアップシステムの導入や、附属病院自動精算機の新紙幣対応、教室設置ノート PC の Windows11 搭載機への更新など最低限必要とされるものを実施しました。こうした設備投資や、運転資金に充当するため、新型コロナ関連公的支援金を原資とした特定資産を取崩しています。

今後の借入金の返済本格化を見据え、東横病院の不動産売却額と 2024 年度で募集を終了した 50 周年記念事業募金の一部を施設設備引当特定資産に繰入れたほか、遺贈に伴い教育研究支援を目的とした特定資産を新設しました。

また、前年度より引き続き、DX につながる業務効率改善に部署横断的に取り組み、ペーパーレス化や RPA、チャットボットの導入に加え、生成 AI の活用などを進めています。

大変厳しい経営状況ではありますが、改善する施策を着実にうちつつ、大学と病院に寄せられた大きな期待と信用に応える取組みを今後も継続していきます。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)

(単位 百万円)

勘定科目	2024年度決算①	2024年度補正②	2023年度決算③	増減(①－②)	増減(①－③)
学生生徒等納付金収入	4,260	4,260	4,230	0	30
寄付金収入	454	461	374	△ 7	80
補助金収入	2,703	2,427	3,161	276	△ 458
医療収入	66,167	65,653	65,564	514	603
その他の収入	26,927	26,493	18,764	434	8,163
資金収入調整勘定	△ 12,514	△ 12,705	△ 13,047	191	533
当年度収入合計(A)	87,997	86,589	79,046	1,408	8,951
借入金等収入(1)	7,300	7,300	600	0	6,700
前年度繰越支払資金	11,517	11,517	17,890	0	△ 6,373
収入の部合計	106,814	105,406	97,536	1,408	9,278

(支出の部)

勘定科目	2024年度決算①	2024年度補正②	2023年度決算③	増減(①－②)	増減(①－③)
人件費支出	31,898	31,892	32,401	6	△ 503
教育研究経費支出	3,070	3,082	2,694	△ 12	376
医療経費支出	38,632	38,881	36,845	△ 249	1,787
管理経費支出	2,238	2,156	1,778	82	460
施設・設備関係支出	6,978	7,029	1,388	△ 51	5,590
借入金等利息支出	434	425	342	9	92
その他の支出	23,865	15,103	23,383	8,762	482
資金支出調整勘定	△ 14,148	△ 14,068	△ 13,097	△ 80	△ 1,051
当年度支出合計(B)	92,967	84,500	85,734	8,467	7,233
借入金等返済支出(2)	285	285	285	0	0
次年度繰越支払資金	13,562	20,621	11,517	△ 7,059	2,045
支出の部合計	106,814	105,406	97,536	1,408	9,278
当年度資金差額(A)－(B)	△ 4,970	2,089	△ 6,688	△ 7,059	1,718
借入金差額(1)－(2)	7,015	7,015	315	0	6,700

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

		単位(百万円)				
●教育活動による資金収支		2024決算 ①	2024補正 ②	2023決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金 収 入	4,260	4,260	4,230	0	30
	寄 付 金 収 入	177	181	270	▲ 4	▲ 93
	経常費等補助金収入	2,558	2,280	3,003	278	▲ 445
	医 療 収 入	66,167	65,653	65,564	514	603
	そ の 他 の 収 入	2,767	2,501	2,692	266	75
収入合計 (A)		75,929	74,875	75,759	1,054	170
支出	人 件 費 支 出	31,898	31,892	32,401	6	▲ 503
	教育研究経費支出	3,070	3,082	2,694	▲ 12	376
	医 療 経 費 支 出	38,632	38,881	36,845	▲ 249	1,787
	管 理 経 費 支 出	2,238	2,156	1,764	82	474
	支 出 合 計 (B)	75,838	76,011	73,704	▲ 173	2,134
調整勘定等 (C)		849	818	▲ 592	31	1,441
資金差額 (D=A-B+C)		940	▲ 318	1,463	1,258	▲ 523

2024年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は医療収入増加を直接材料やリニューアル事業費、補助金返還等の経費増加が上回りましたが、期末未払金の増加により資金差額は**940百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲7,173百万円(H)**で、東横病院不動産売却収入や、大学病院新外来棟・エントランス棟竣工・稼働等の施設・設備関係支出との差異によるものです。教育と施設整備を合わせた資金差額は**▲6,233百万円(D+H)**です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額8,278百万円(N)**と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**2,045百万円(Q)**増加し、次年度へは**13,562百万円(P)**の支払資金を繰越すことになります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支						
収入	寄付金・補助金収入	421	423	263	▲ 2	158
	そ の 他 の 収 入	6,885	6,886	2	▲ 1	6,883
	収入合計 (E)	7,307	7,309	265	▲ 2	7,042
支出	施設・設備関係支出	6,978	7,029	1,388	▲ 51	5,590
	そ の 他 の 支 出	8,081	0	0	8,081	8,081
	支出合計 (F)	15,059	7,029	1,388	8,030	13,671
調整勘定等 (G)		579	627	▲ 8,434	▲ 48	9,013
資金差額 (H=E-F+G)		▲ 7,173	907	▲ 9,557	▲ 8,080	2,384
資金差額小計 (D+H)		▲ 6,233	589	▲ 8,094	▲ 6,822	1,861

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入 (I)	7,300	7,300	600	0	6,700
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 収 入	4,206	3,962	3,202	244	1,004
	収入合計 (J)	11,506	11,262	3,802	244	7,704
支出	借入金等返済支出 (K)	285	285	285	0	0
	借入金等利息支出	434	425	342	9	92
	そ の 他 の 支 出	2,509	2,037	1,454	472	1,055
	支出合計 (L)	3,228	2,747	2,081	481	1,147
調整勘定等 (M)		0	0	0	0	0
資金差額 (N=J-L+M)		8,278	8,515	1,721	▲ 237	6,557

借入金等収入(I)7,300百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は**▲1,634百万円**とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金 (O)		11,517	11,517	17,890	0	▲ 6,373
次年度繰越支払資金 (P)		13,562	20,621	11,517	▲ 7,059	2,045
支払資金増減 (Q=D+H+N=P-O)		2,045	9,104	▲ 6,373	▲ 7,059	8,418
内訳	借入金差額 (R=I-K)	7,015	7,015	315	0	6,700
	当年度資金差額 (S=Q-R)	▲ 4,970	2,089	▲ 6,688	▲ 7,059	1,718

借入金差額(借入収入-返済支出)7,015百万円(R)を除いた当年度の資金差額は**▲4,970百万円(S)**となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2024決算 ①	2024補正 ②	2023決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金	4,260	4,260	4,230	0	30
	寄 付 金	184	188	272	▲ 4	▲ 88
	経 常 費 等 補 助 金	2,558	2,280	3,003	278	▲ 445
	医 療 収 入	66,167	65,653	65,564	514	603
	そ の 他 の 収 入	2,767	2,498	2,693	269	74
	収 入 合 計 (A)	75,936	74,879	75,762	1,057	174
支出	人 件 費	31,939	31,892	32,382	47	▲ 443
	教 育 研 究 経 費	3,461	3,471	3,095	▲ 10	366
	医 療 経 費	42,843	43,092	42,924	▲ 249	▲ 81
	管 理 経 費	2,477	2,395	1,833	82	644
	そ の 他 の 支 出	11	11	4	0	7
	(減 価 償 却 額)	(4,576)	(4,610)	(6,428)	▲ 34	▲ 1,852
	支 出 合 計 (B)	80,731	80,861	80,238	▲ 130	493
	収 支 差 額 (C=A-B)	▲ 4,795	▲ 5,982	▲ 4,476	1,187	▲ 319

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支

収入	受取利息・配当金他	48	45	36	3	12
	収 益 事 業 収 入	0	0	0	0	0
	収 入 合 計 (D)	48	45	36	3	12
支出	借 入 金 等 利 息	434	425	342	9	92
	そ の 他 の 支 出	0	0	0	0	0
	支 出 合 計 (E)	434	425	342	9	92
	収 支 差 額 (F=D-E)	▲ 386	▲ 380	▲ 306	▲ 6	▲ 80
	経常収支差額 (G=C+F)	▲ 5,181	▲ 6,362	▲ 4,782	1,181	▲ 399

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資 産 売 却 差 額	5,876	5,877	2	▲ 1	5,874
	寄 付 金 ・ 補 助 金 収 入	453	460	364	▲ 7	89
	そ の 他 の 収 入	4	4	0	0	4
	収 入 合 計 (H)	6,333	6,341	366	▲ 8	5,967
支出	資 産 処 分 差 額	2,511	1,914	110	597	2,401
	そ の 他 の 支 出	143	0	14	143	129
	支 出 合 計 (I)	2,654	1,914	124	740	2,530
	特別収支差額 (J=H-I)	3,679	4,427	242	▲ 748	3,437

基本金組入前当年度 収支差額(K=G+J=Q-R)	▲ 1,502	▲ 1,935	▲ 4,540	433	3,038
基 本 金 組 入 額 (L)	▲ 336	▲ 74	▲ 3,381	▲ 262	3,045
当年度収支差額(M=K+L)	▲ 1,838	▲ 2,009	▲ 7,921	171	6,083
前年度繰越収支差額(N)	▲ 65,919	▲ 65,919	▲ 58,049	0	▲ 7,870
基 本 金 取 崩 額 (O)	16,682	20,262	51	▲ 3,580	16,631
翌年度繰越収支差額 (P=M+N+O)	▲ 51,075	▲ 47,666	▲ 65,919	▲ 3,409	14,844

(参考)

事 業 活 動 収 入 計 (Q)	82,317	81,265	76,164	1,052	6,153
事 業 活 動 支 出 計 (R)	83,819	83,200	80,704	619	3,115

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、コロナ関連支援金や経常費等補助金の減少も、医療収入増により前年比増の**75,936百万円(A)**となりました。

支出は、東横病院経費の減少(人員の多摩病院異動や、前年度閉院に伴う耐用年数短縮処理等)も、新外来棟・エントランス棟竣工・稼働に伴う什器備品購入や清掃・移転等委託費、医薬品や衛生材料費など材料費増、コロナ関連支援金(補助金)の返還で増加し、**教育活動収支差額は、前年比▲319百万円の▲4,795百万円(C)**となりました。

また、財務活動による収入48百万円(D)は前年度に比べ増加したのに対し、リニューアル事業借入と金利上昇による借入金等利息434百万円と支出増のため、**教育活動外収支差額は▲386百万円(F)**、教育活動収支差額と合わせた**経常収支差額は▲5,181百万円(G)**となりました。

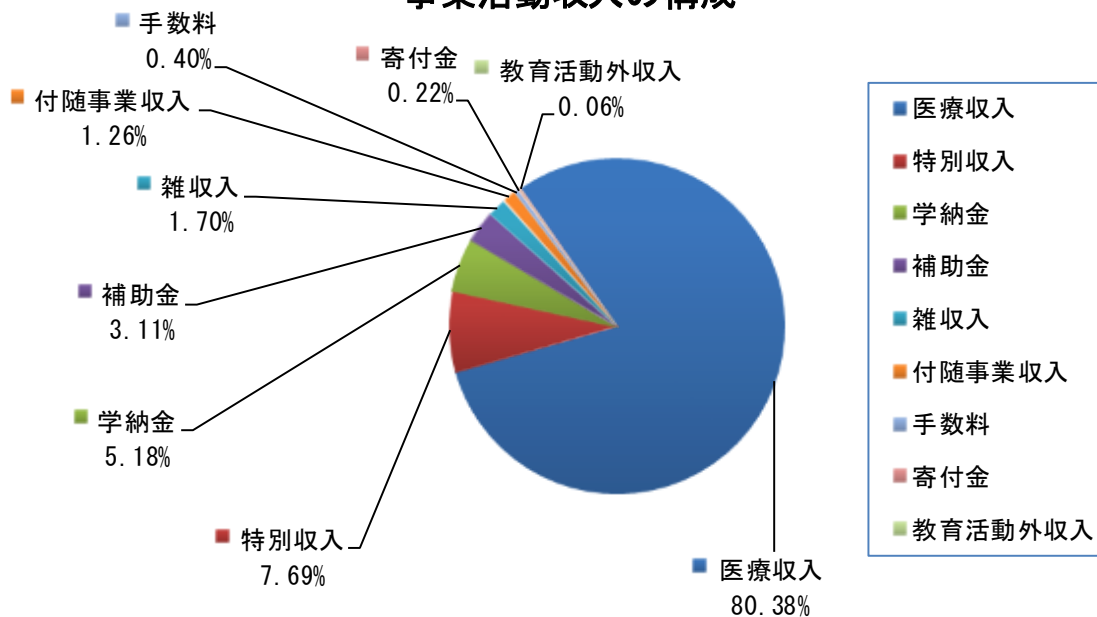
東横病院不動産売却差額や、50周年記念事業募金等収入に対し、大学病院本館解体、外来棟へ改修した病院別館部分除却等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による**特別収支差額は3,679百万円(J)**となりました。

この結果、事業活動収支差額は、前年度を3,038百万円上回る**▲1,502百万円(K)**となりました。

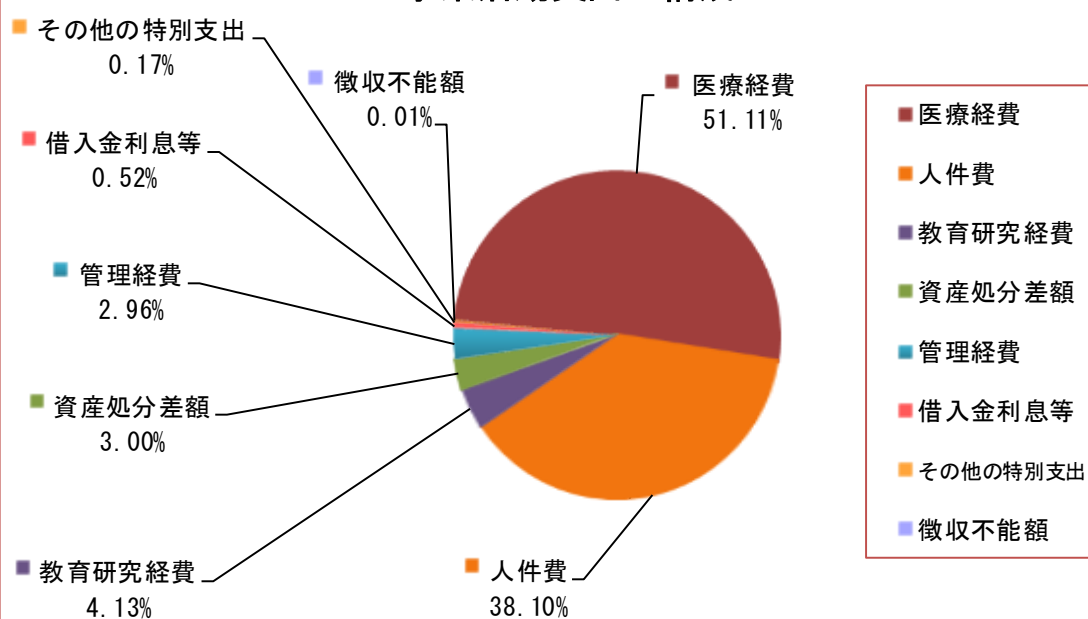
また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、**▲51,075百万円(P)**となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を6,153百万円上回り、**82,317百万円(Q)**となりました。

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B／S(バランスシート)とも言われ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	83,761	79,965	3,796	固定負債	60,073	53,565	6,508
有形固定資産	64,952	65,661	▲ 709	長期借入金	47,435	40,776	6,659
土地・建物・構築物	84,876	98,556	▲ 13,680	退職給与引当金	12,637	12,785	▲ 148
機器備品	26,202	27,751	▲ 1,549	その他の負債	1	4	▲ 3
その他の資産	2,546	4,146	▲ 1,600	流動負債	17,074	15,582	1,492
減価償却累計額	▲ 48,672	▲ 64,792	16,120	短期借入金	642	285	357
特定資産	15,341	10,254	5,087	未払金	14,667	13,510	1,157
その他の固定資産	3,468	4,050	▲ 582	その他の負債	1,765	1,787	▲ 22
有価証券	116	116	0	負債の部合計	77,147	69,147	8,000
収益事業元入金	111	111	0	基本金	86,683	103,029	▲ 16,346
その他の資産	3,241	3,823	▲ 582	1号基本金	80,562	96,908	▲ 16,346
				2号基本金	0	0	0
流動資産	28,994	26,292	2,702	3号基本金	507	507	0
現金・預金	13,562	11,517	2,045	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	15,432	14,775	657	繰越収支差額	▲ 51,075	▲ 65,919	14,844
				純資産の部合計	35,608	37,110	▲ 1,502
合 計	112,755	106,257	6,498	合 計	112,755	106,257	6,498